



写真提供：黒部園芸療法士

当院は、人生に大きな影響を与える脳血管障害やパーキンソン病・脊椎損傷・神経難病など様々な障害をもたれた患者様が入院しておられ、個別に治療計画を検討し多職種と協働で援助を提供しております。

看護部は病院の中でも最も人数の多い組織で、看護師57人その中に男性看護師が9名います。看護補助者10名の合計67名で、平均年齢は35.5歳と若く元気のある集団です。

看護の役割には、食事、排泄、更衣、入浴、移動手段など日常生活動作の獲得に向けた援助や、麻痺や筋力の低下、注意力障害や言語障害からベットの車いすからの乗り移りや、歩行時に起こる転倒の予防など、安全面への配慮を行っています。そして、入院初期から、退院後の生活をイメージして患者さん毎に担当看護師制で、患者さんご家族の相談窓口となり、新たな生活に向けて安心して自分らしく過ごしていけるように医師や療法士・栄養士など多職種と共にチームで支援し、看護師は、患者さんのアドボケート(代弁者)となるように意識しております。リハビリテーション医療で、最も大切なのは患者さんの「治りたい、回復したい。頑張ってみよう」という強い思いです。これには、ご家族や友人などの力が何より大切です。患者さんの最も身近にいる看護師が精神的に支援できることも重要な役割の一つです。訓練を頑張った結果、体のあちらこちらが痛んだり、気分がめげそうになったり、先行きが見えないといった気分が落ち込むことがあると思います。看護師に辛い気持ちや愚痴を言っ下さい。辛い気持ちをほき出すとまた頑張れると思います。そして、退院後、

状態が変わったとき、困ったときにも相談に乗れご支援できるようにしたいと思います。

看護の醍醐味は、患者さん・ご家族から信頼され共に回復へのチャレンジができることです。「お世話になりました。」と、ご家庭に帰って行かれる患者さん・ご家族から笑顔がこぼれるとき、私たちも力を発揮することができたと思える瞬間です。

皆さんの思う看護師のイメージは如何ですか? 「ひとりで車いすへの乗り移りはしないで待つて下さい。」「トイレが終わってもナースコールで呼んで下さい」等々ご自分でしたいことに規制をかけ、そばに居てもみているだけで何もしてくれない。厳しく、態度の大きな看護師と思われていませんか? 私たちは、患者さんの動作が安全か、確実か、を確かめ、そのために待つて頂きすぐに手を出さず、できる環境を整えて可能性を見出しています。そして、自信を持ってできる部分とお手伝いする部分を見極めていきます。日頃の訓練室で行っていることを生活の場で生かせるように、一緒に回復していきましよう。そして、お手伝いのいる部分はご家族へ介護方法や注意点などを説明させて頂きます。

ロンドンオリンピックでは、なでしこジャパンや重量挙げ・柔道・マラソンなどたくさんの方の元気をもらうことができました。次いでパラリンピックも選手の皆さんの頑張りに、敬意を表したいと思います。ひとりの選手には、沢山のトレーナーやサポーターがいて結果に結びついています。私たちも、患者さん・ご家族から「西播磨病院に入院して良かった」といつてもらえるように職員一同頑張りたいと思います。

ひかりの都

リハビリテーション西播磨病院だより

発行編集

兵庫県社会福祉事業団

リハビリテーションセンター西播磨病院

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

TEL(0791)58-1050

FAX(0791)58-1071



看護部のご紹介

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院

看護部長

井上

京子

新任・転入職員 の紹介



山下看護師(新任)



吉井看護師長(転入)

はじめまして、この4月から異動で配属になりました黒崎です。よろしくお願いします。
私の楽しみは、美味しいものを見つけると『お取り寄せ』して食べる事と犬(トイプードル)を2匹飼っているのですが、私にずっとひつつき虫で暑くなるいですが笑、可愛い目としっぽを見ていると幸せな気分になさてくれる事です。



黒崎看護部次長(転入)



井上看護師(新任)



山本看護師(新任)

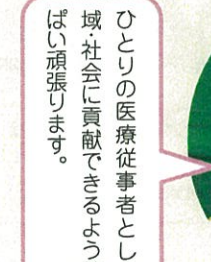


山田忍看護師(新任)

患者様、一人一人との出会いを、大切にできる看護師になりたいです。



坪田看護師(新任)



松ヶ下OT(新任)

ひとりの医療従事者として、地域社会に貢献できるよう精いっぱい頑張ります。



土井看護師(新任)



寺田看護師(新任)



山田真看護師(新任)



川島ST(転入)



平岡OT(新任)



飯田OT(新任)



坂東OT(新任)



中尾OT(新任)

夏バテ対策は、体力、食事、水分、睡眠の4点。



■汗をかく体にする

歩き、汗をかくことで体温を下げ、体に熱をためない体質をつくるのが大切です。こまめに服を脱いだり着たりして、気温の変化に敏感になりましょう。

■ビタミン摂取

ビタミンB、A、Cが大切です。
ビタミンB群は炭水化物や脂肪の分解を助け、疲れの回復を早めます。また、ビタミンAは夏に弱りがちな胃の機能を守ってくれますし、ビタミンCは夏の強い紫外線から肌を守ってくれます。

■水分のこまめな補給

普段の食事でも、みそ汁や果物、キュウリやトマトなど夏野菜をとって、水分と一緒に汗で流れてしまうミネラルを多く取り込むことが大切です。

■早寝早起き

睡眠不足では疲れがたまり、熱中症にかかりやすくなります。早寝早起きを習慣づけましょう。

神経内科医長
高橋 竜一



久保原PT(新任)



永井PT(新任)



浜田PT(新任)



衣笠PT(新任)

フレッシュな風が吹き込まれる
よう、笑顔で明るく頑張ります。



岩本PT(新任)

丹南精明園から転動してまいりました。4か月が経ちますが苦闘、奮闘の毎日です。よろしくお願いたします。



大森業務部次長(転入)



安尾PT(転入)



川見PT(新任)



黒田PT(新任)



吉田臨床検査技師(新任)

生まれも育ちも赤穂というところで、播州弁を耳にするたび、故郷に戻ってきて仕事をしているなあと感じます。患者さまのお役に立てるよう一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



高野臨床検査技師(転入)



杉本OT(転入)



岸田OT(新任)

庭を歩いてみよう

今朝、起きてから夜寝るまでの間、土を草を踏みしめただろうか。

クーラーの無い時間を送り、汗をかいただろうか。

日々の天気予報の最高・最低気温を身体全体で感じ得ただろうか。

季節の移ろいの変化点を感じているだろうか。

庭を歩いてみよう。

人は生かされている生命にもっと感謝し、謙虚になれるから。

感じているだろうか。

庭や山の「緑」、その向こうの雲の「白」や空の「青」は、決して単色ではなく

絵具では出せない色が多いことを。

感じているだろうか。

夏の朝、耳に染み入る蝉の声、夕立の後のそよ風に流れる風鈴の音色を。

感じているだろうか。

もぎたてのトマトを、かじった時の青臭さと、揉んだ時の紫蘇の香はしさを。

感じているだろうか。
夏のヤマモモや秋の乙女リングは、甘酸っぱさの後に清涼感がやってくることを。

感じているだろうか。
緑陰に盛り上がる苔や、大木の幹は思いのほか冷たいことを。

庭を歩いてみよう。
人はもつと五感を鋭敏に研ぎ澄ますことができるから。

庭を歩いてみよう。
知的好奇心を嫌がうえでも高め、脳を活性化してくれるから。

庭を歩いてみよう。
足元の生命に気付き、その美しさと神秘に心ときめくから。

頭で考えず、身体で感じよう。

五官を開き、五感を育んで。

ペンネーム
檜ヶ岳でテン泊

お店紹介 ～ はりまくらぶ ～



好評のお店紹介コーナー第2回目に紹介するのは、県立大学向かい側にある「はりまくらぶ」です。

マスターが脱サラして始められたお好み焼き屋さんで、13年目になるそうです。店内は鉄板を囲んだカウンター席と、テーブル席が3つあり、小ぢんまりとした造りになっています。隣にはカラオケが2部屋あり、食事をしながらカラオケを楽しむこともできます。客層は女子学生から高齢の方まで幅広く、家族連れでも来店しやすいお店です。

モットーは「お客さんと話をする」という、話上手で多趣味のマスターとの会話も楽しみの一つです。

今回、ミックス焼、もちチーズ焼、ねぎ焼などをいただきましたが、スパイシーな味や醤油の香ばしい風味など、

食欲をそそるものばかりでした。実は「はりまくらぶ」ではメニューに無い一品(いわゆる裏メニュー)が、当たり前のように出てくるのが面白いです。むしろ裏メニューの方が多くかもしれない。何が出てくるか楽しみに訪れてみてください。

お好み焼き ￥500-
そば・うどん焼き ￥400-
営業時間 11～22時
定休日 月曜日(祭日は営業)
☎ 0791-5810009

取材者 臨床検査技師 畑中 新免 薬剤師



ふれあいリハフェスタ in 西播磨2012 ～地域みなさんのお祭り～

日時: 2012年 9月29日(土)
10時～15時(小雨決行)

場所: 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター
たつの市新宮町光都1丁目7番1号
0791-58-1050

コンサートや模擬店など、楽しい催し物がたくさんあります。
みなさん!!是非、お越し下さい☆

ロビーコンサート



平成24年7月5日、七夕を兼ねたロビーコンサートを開催しました。患者さんから合唱やユニークな衣装での南京玉すだれを披露していただき、とても賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。また、実習に来ていた看護学生も実習最終日ということもあり、急遽飛び入りで「栄光の架け橋」を元氣よく歌ってくれました。最後にはボランティアの方々のギター演奏で「たなばたさま」などを演奏していただき、七夕を感じ、口ずさんだり、涙を流したり、とても盛り上がったコンサートとなりました。

「休日リハ」が始まりました。

当院では、平成24年7月から回復期病棟リハ患者様を対象に「休日リハ」を始めました。さらに、10月からは必要最小限ではありますが、回復期病棟という枠を超えて障害者病棟の一部の患者様にもご利用頂く予定です。

「休日リハ」では、一部のスタッフで実施しますので、リハビリの場所等々平日と大きく異なります。このことで皆様方にご不自由をお掛けするかも知れませんがご理解の程お願い致します。

「回復期病棟」とは、脳血管疾患等の患者様に対して、寝たきりを防ぎ1日でも早く在宅復帰をして頂くために、集中的にリハビリに取り組む病棟です。このため、病気の種類、発症からの期間、入院期間などが厳しく定められており、その結果、入院料も異なります。

リハビリ療法部長

東山 毅